



杉本 たけ子



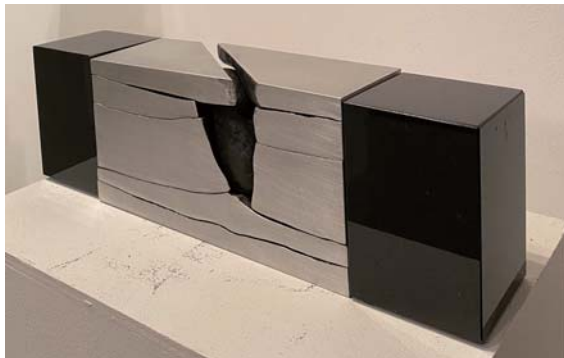
前田 正剛



加藤 明人



高山 竜治



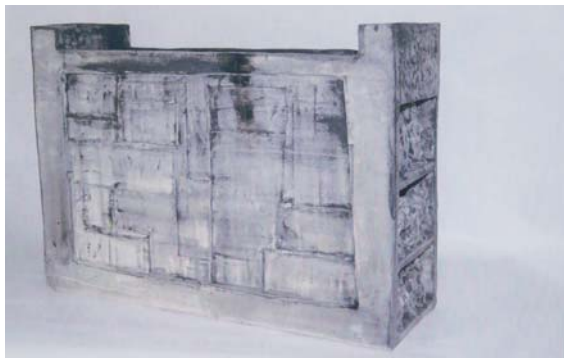
国島 征二



嶋田 庸平 / 嶋田 緑



杉浦 傑



野村 正文



伊藤 勝彦



高山 秀美

山里アート

in 岡崎信用金庫資料館

2023
1.28(土) ▶ 3.12(日)

入場
無料

時 間 / 10時~17時(入館は16時30分まで) 最終日16時まで

休館日 / 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

主 催 / 千万町・木下ふるさとづくり委員会

<https://zemanjogakko.com/>

協 力 / 岡崎信用金庫

岡崎信用金庫資料館

〒444-0038 愛知県岡崎市伝馬通 1-58 / TEL : 0564-24-2367

[公共交通機関ご利用の場合]

名鉄本線 東岡崎駅 徒歩約 10 分 / 名鉄バス 籠田公園前下車 徒歩約 2 分

額田の山里に根ざしアートを活かしたふるさとづくり

「額田の山里に根ざし、アートの力を活かしたふるさとづくり」をしていきたい、という思いを込めて、「山里アートin千万町楽校」が、2016年から始まりました。千万町楽校(ぜまんじょうがっこう)とは、岡崎市の水源に位置する閉校した岡崎市立千万町小学校跡地です。今回は岡崎信用金庫資料館で、山里アート作家の作品展を通じ、山里の地に足を運んでくださる人を増やし、山里の魅力を岡崎市民へ、都市住民の皆様へと発信する機会としていきたいと思ひます。

◆ 伊藤 勝彦 陶芸

1965年 愛知県津島市出身
1985年 二代 加藤春鼎先生師事
1988年以降

東海伝統工芸展、日本伝統工芸展などに入選
1998年 岡崎市に住居、アトリエ、窯を築く(ポツンと一軒家にて放送される)

織部釉による作品を中心に制作。
名古屋栄三越百貨店、大阪阪神百貨店、中部近鉄百貨店など全国百貨店で個展開催。
現在、陶芸教室「道草」(名古屋市千種区)にて講師。岡崎美術協会理事。

✉ k_itou19650905@yahoo.co.jp



◆ 加藤 明人 陶芸

自然あふれ草木しげる千万町町の林と楽校横の小屋に作品を並べてます。

豊かな自然の中で、ゆったり時を過ごし野趣溢れる作品ができたかと思っております。

壺は、八草土に黄瀬戸釉と赤松灰釉を吹き付け焼成しました。

ご覧いただけましたら幸いです。



◆ 国島 征二 彫刻

1937年名古屋生まれ。

1963年の初個展以来、世界中で作品を発表。

1980年からはアメリカのロサンゼルスにアトリエを構え、日本とアメリカを往復しながら石を使用した巨大な野外モニュメントを多数制作。

60歳を契機に石のモニュメント制作でお世話になっていた額田石材の紹介で額田町の山間部にアトリエを構え生活しはじめる。

ロサンゼルスでの都会生活から離れ、額田町で自然とかかわり対話しながら作品制作をする事は国島征二にとって創作の原点に帰る行為でもあった。

しかし2022年3月7日逝去。84歳でした。



◆ 嶋田 庸平 木工

◆ 嶋田 緑 植物造形

【山里の資源で暮らしの"面白い"を創造する】
を目標にやまどり製作所を立上げる

額田の人たちが受け継いできた豊かな素材と、生活の知恵
これらをアイデアの原点として、暮らしの中にあつたら
なんか面白い
ものづくりを心がけています

やまどり製作所 <https://yamadoriseisakusho.com/> @yamadoriseisakusho



◆ 杉浦 傑 漆芸

日本の伝統工芸のひとつであります漆に魅せられ、漆芸の修業をしています。

漆芸ひとくちに言っても様々あります。蒔絵、箔絵、漆絵、沈金、螺鈿、卵殻、象嵌、平文など、一部ではありますが、様々な技法の習得に努めています。

まだまだ道半ばであり、皆様に披露するには気が引ける場所もありますが、恥ずかしながら作品を展示させていただきます。

少しでも漆の世界を覗いていただき、堪能していただければ幸いです。

✉ shitugei.sa@gmail.com



◆ 杉本 たけ子 陶芸

セラミックを使ったインスタレーション。
オブジェ、花器、食器を制作しています。

純粋、無垢な色として白い色にこだわり、原始的な(プリミティブ)シンプルな作品を目指しています。作品を通して人々と共感し、繋がっていきなさいと思ひます。

県立瀬戸窯業高校(現 瀬戸工科高校)陶芸専攻科卒
<個展・グループ展>日本、パリ、NY、ドイツ、イタリア、オランダ
<パブリックコレクション>

アディロンダックコミュニティカレッジ(NY)、Museo Del Fango(Italy Sicilia)

✉ moegitakechan@yahoo.co.jp @takekosugimoto



◆ 高山 秀美 トンボ玉

1999年長野県で美術館巡りをしている時にトンボ玉と出会い、ほぼ独学で「天とんぼ」として製作活動をしていましたが、2007年より高山竜治と夫婦で「工房天竜」として百貨店催事、作品展、各地のイベントなどで活動。

2014年に岡崎市宮崎町で、自然豊かな理想の工房と巡り合い移住しました。

きらきら輝く大好きなガラスを、どのような色や形にしようかと、自分色を大切にしながら試行錯誤しながら作り続けています。今後もトンボ玉に限らず、自分が良いと思う作品達を、この地と出会えた人々のご縁を大事にしながら、製作活動をしていきたいと思ひています。

工房天竜 <http://www.koubou-tenryu.com/>



◆ 高山 竜治 切り絵

2007年から動物をモチーフとしたイラストを描き始め、高山秀美と夫婦で「工房天竜」として百貨店催事、作品展、各地のイベントなどで活動を開始。

2010年からは自分が描く絵の表現方法として「切り絵」を選択。

より良い作品の製作環境を求め、2014年に岡崎市宮崎町へ移住し製作活動をしています。

自分の絵を様々な方法で表現し、見てくれた方々の気持ちを和ませるような作品を作り続けていきたいです。 工房天竜 <http://www.koubou-tenryu.com/>



◆ 野村 正文 陶芸

山里アートの重鎮「国島征二氏の逝去」

ぽっかりあいた心が、今ださまよっています。

生前、作陶についてご指導いただいた言葉は忘れません。

「作って、作って、作りまくれ。うまい、へたではない。

そうした活動の中から人を感動させる作品が生まれる」と。

心に銘じて作陶しています。

陶芸(呂窯) ☎ 090-2948-1075



◆ 前田 正剛 陶芸

植物を主軸のテーマとし、近年までは色釉による掛け分けで色彩豊かに表現してまいりました。

昨今は、より想像を掻き立て、それぞれの心象へ訴えるモノになればとモノトーンで表現いたしております。そして観覧していただく際に発見と物語が生まれ、楽しんでいただけるのではないかと鬱蒼とする茂みの中で行われている小さな生き物の営みを器上に配した表現も試みております。

自然の中にこそ、人の美しいと感じる制作のヒントが沢山溢れていると常日頃感じています。つましくも力強いあらゆる自然からのお裾分けを、器上に表現できればと研鑽しております。

✉ studio.muddy@gmail.com @maeda.seigo

